

地域防災の拠点に 高野台防災公園が完成



平成28年熊本地震で被害が大きかった高野台地域に、防災公園が整備されました。

村の西部地区における防災拠点として位置づけ、約500人の3日分の水・食料などを備蓄。有事の際には、自衛隊、消防、警察などの活動拠点としての活用も想定した公園です。

また、平時は防災教育や防災訓練にも活用すると共に、震災遺構として残している「大規模地すべりの断層」と併せ震災の記憶・教訓を後世に繋いでいく場にします。

防災施設紹介

■所在地

大字河陽5241-23

■敷地面積

7160平方メートル

■施設

- ・備蓄倉庫 2戸
- ・耐震性貯水槽
- ・防災トイレ 11基
- ・かまどベンチ 6基
- ・ソーラー照明 9基
- ・駐車場
(普通車換算 99台分)

※平常時は施設管理されています。

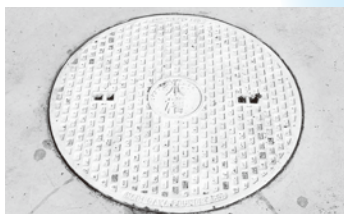
かまどベンチ (※)

ベンチの中に移動式の「かまど」が収納されており、災害時の炊き出しなどで調理に使用できます。



耐震性貯水槽

地下タンクに40,000リットルの水が貯蔵されており、非常時には浄水器で水を汲み上げて緊急用飲料水に利用できます。



防災トイレ (※)

ベンチの座面を取り外し、周りに仮設テントを設置することで災害時にトイレとして使用できます。



防災備蓄倉庫

災害、緊急時に備え、消火や救出活動に使う物品や、保存食などを備蓄します。

